

令和元年9月19日

報道機関 各位

## 日本海洋学会 2019年度秋季大会 開催のお知らせ

日本海洋学会では、2019年9月25日（水）から29日（日）までの5日間、富山国際会議場において秋季大会を開催いたします。本大会では、海を取り巻く謎の解明から人間活動と密接に関係した様々な課題など、最新の研究成果の講演・シンポジウムを予定しております。本資料では、講演・シンポジウム等の内容をピックアップしてご紹介いたします。大会の詳細につきましては、別紙1（タイムテーブル）、別紙2（招待ハイライト講演リスト）および大会 Web ページ（<https://www.jp-c.jp/jos/2019FM/index.php>）をご参照ください。

期日： 2019年9月25日（水）～29日（日）

場所： 富山国際会議場（会場配置は別紙3をご参照ください）

主催： 日本海洋学会

【ハイライト講演】（講演の概要は別紙2をご覧ください）

- 「気候変動に伴う浅海生態系分布変化の予測」 茂木博匡（海上・港湾・航空技術研究所）  
(9/28 10:30～10:45 第5会場)

【シンポジウム】

- 「今後の黒潮と周辺海域の国際共同観測を考える」 (9/25 9:30～16:45 第3会場)
- SCOR-海洋学会合同シンポジウム「日本の海洋科学：現在と将来」 (9/25 13:30～17:00 第2会場)
- 沿岸海洋シンポジウム「変わりゆく海：沿岸海域への温暖化の影響」 (9/29 9:00～16:45 第4会場)
- 「大型研究計画と海洋学会将来構想」 (9/29 9:30～15:00 第3会場)

【イベント】

- 「海洋研究者の座談会 ― 男女共同参画の現状と課題 ―」 (9/26 12:00～13:00 第4会場)
- 「全球海洋観測システム (GOOS) に関連する情報を共有するための集会」 (9/27 12:00～13:00 第4会場)
- 海洋教育特別ポスターイベント「海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題」 (9/28 13:00～14:30 ポスター会場 (3Fホワイエ))

# News Release



【発信】国立大学法人  
富山大学総務部総務・広報課  
(TEL) 076-445-6028  
(FAX) 076-445-6063

- 第8回COSIA (海洋科学コミュニケーション実践講座) 体験ワークショップ (9/28 16:30~18:00 第5会場)

## 【ナイトセッション】

- 「軍事研究の情報交換/海洋科学研究者の立場について」 (9/25 17:00~19:00 第3会場)
- 「学生・若手研究者のための研究資金の獲得について」 (9/25 17:15~19:00 第2会場)
- 「持続可能な開発のための国連海洋科学の10年(2021-2030)」の準備状況と今後 (9/28 18:00~19:30 第3会場)
- 「海洋・水産分野への利用に向けたデータ同化と衛星観測」 (9/28 18:00~20:30 第2会場)

## 【海のサイエンスカフェ】

- 「日本海ってどんな海?—水質とプランクトンからみた過去・現在・未来—」

話題提供: 児玉 武稔 (水産研究・教育機構 中央水産研究所)

日時: 9/28 (土) 14:30~16:00

場所: カフェゴッコ (富山市今泉西部町1-6 とやま健康生きがいセンター1F)

### 【本件に関する問い合わせ先】

准教授 堀川恵司

富山大学 理学部 (生物圏環境科学科)

TEL. 076-445-6668

日本海洋学会 2019 年度秋季大会実行委員会 大会事務局長

## 大会日程

日時	時間	会場	研究発表・集会
9月25日	9:30~16:45	第3会場	シンポジウム-3: 今後の黒潮と周辺海域の国際共同観測を考える
	13:30~17:00	第2会場	シンポジウム-1: SCOR-海洋学会合同シンポジウム 「日本の海洋科学：現在と将来」 SCOR-OSJ Joint Symposium “Ocean Sciences in Japan: Present and Future”
	17:00~19:00	第3会場	ナイトセッション-1: 軍事研究の情報交換／海洋科学研究者の立場について
	17:15~19:00	第2会場	ナイトセッション-4: 学生・若手研究者のための研究資金の獲得について
9月26日	8:45~17:30	第1-4会場	口頭発表
	12:00~13:00	第4会場	イベント-4: 海洋研究者の座談会 ― 男女共同参画の現状と課題
	13:00~14:30	3F ホワイエ	ポスター発表
	18:00~20:00	第4会場	評議員会
9月27日	8:30~12:00	第1-4会場	口頭発表
	12:00~13:00	第4会場	イベント-2: 全球海洋観測システム (GOOS) に関連する 情報を共有するための集会
	13:00~14:30	3F ホワイエ	ポスター発表
	14:30~17:15	第1会場	授賞式・受賞記念講演
	17:15~17:45	第1会場	若手懇談会
	18:00~20:30	グランドプラザ	懇親会
9月28日	9:00~17:45	第1-5会場	口頭発表
	13:00~14:30	3F ホワイエ	イベント-1: 海洋教育特別ポスターイベント 海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題
	13:00~14:30	3F ホワイエ	ポスター発表
	16:30~18:00	第5会場	イベント-3: 第8回 COSIA (海洋科学コミュニケーション実践講座) 体験ワークショップー学習者の多様性に配慮した学習環境をつくる
	18:00~20:30	第2会場	ナイトセッション-3: 海洋・水産分野への利用に向けたデータ同化と衛星観測
	18:00~19:30	第3会場	ナイトセッション-2: 「持続可能な開発のための国連海洋科学の10年(2021-2030)」の準備状況と今後
9月29日	9:00~16:45	第4会場	シンポジウム-2: 沿岸海洋シンポジウム 「変わりゆく海：沿岸海域への温暖化の影響」
	9:30~15:00	第3会場	シンポジウム-4: 大型研究計画と海洋学会将来構想

## 招待・ハイライト講演リスト

招待講演・ハイライト講演に関する情報をピックアップしてお知らせします。ハイライト講演については発表者が一般向けの概要を作成しております。

9/26 (木)

セッション 19F-06：海洋と大気の力学（第1会場）

8:45～ 9:05 「氷期における大西洋深層循環の数値シミュレーション」 岡頭（東大大気海洋研）  
16:15～16:35 「赤道波擾乱における湿潤静的エネルギーの維持・減衰メカニズム」 安永数明（富山大学）

セッション 19F-08：海洋における微量元素・同位体の生物地球化学

(SCOR-GEOTRACES Joint English Session)（第3会場）

9:05～ 9:30 「WOCE - CLIVAR - GO-SHIP」 深澤理郎（海洋研究開発機構）  
9:30～ 9:55 「Tidbits of JGOFS (JGOFS の華)」 陳鎮東（中山大学海洋科学系）  
10:55～11:10 「US GEOTRACES inception, strategy and outcomes」 Mariko Hatta (University of Hawaii)  
14:45～15:05 「Barium Isotope Geochemistry in a Large Estuarine System: the Pearl River Estuary, China」  
Zhimian Cao (Xiamen University)  
15:20～15:40 「Dissolved Nd isotope ratios along the GEOTRACES Eastern Pacific Zonal Transect」  
Chandranath Basak (University of Delaware)

セッション 19F-01：熱帯の物理・化学・生物（第2会場）

14:45～15:00 「季節風から年周期表層波動へのエネルギー入力の見積もり」  
相木秀則（名大宇宙地球環境研究所）

9/27 (金)

セッション 19F-04：数ヶ月から数10年スケールの気候変動とその予測～海洋・海氷の役割～

(第2会場)

8:30～ 8:45 「日本沿岸への適用を目的とした CMIP5 大気外力による海洋将来予測データセットの構築」  
西川史朗（海洋研究開発機構）

9/28 (土)

セッション 19F-05 中緯度海洋の果たす役割（第1会場）

9:00～ 9:15 「遠隔強制による過去40年間の亜熱帯モード水の物理・生物地球化学的十年規模変動」  
岡英太郎（東大大気海洋研）  
14:30～14:45 「北陸における初冬季の降水量の増加と熱帯インド洋の降水」 安永数明（富山大学）  
14:45～15:00 「黒潮大蛇行が温帯低気圧中心近傍の強風へ及ぼす影響」 平田英隆（立正大学）

セッション 19F-03 極域・寒冷域の海洋環境変動に関する分野横断研究（第3-4会場）

9:00～ 9:30 「近年のユーラシアの寒冷化に果たす北極海氷減少の影響」 森正人（東京大学）

セッション 19F-07 海洋酸性化と温暖化の生態系への影響評価（第5会場）

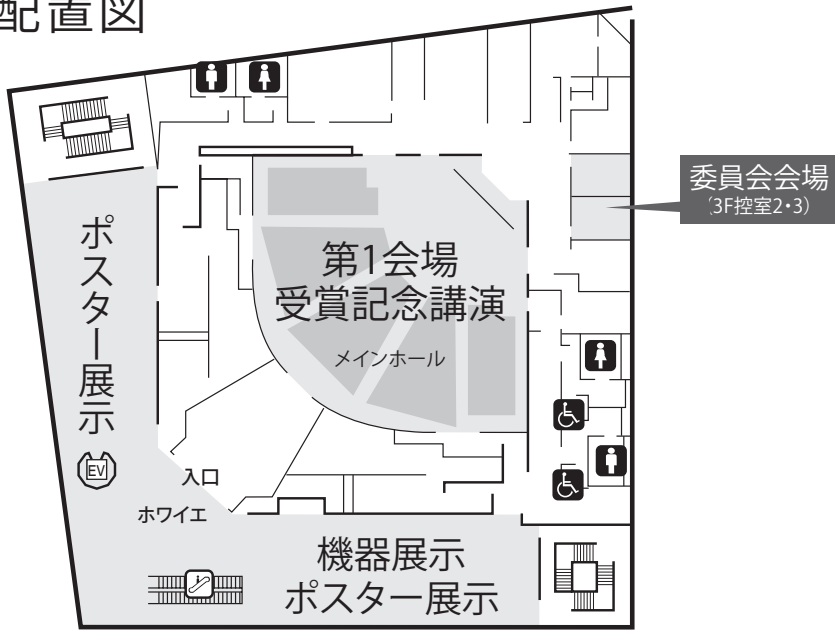
**10:30～10:45 「気候変動に伴う浅海生態系分布変化の予測」 \*ハイライト講演**

発表者：茂木博匡（海上・港湾・航空技術研究所）

概要：近年、浅海生態系はCO<sub>2</sub>吸収速度が極めて大きいことから、気候変動の緩和としての効果が期待されている。また、人工構造物に比べて長期的な維持・回復力も高いことから減災効果としての活躍も注目されている。これまでに浅海生態系分布面積の将来変化予測は行われてきたが、特定の浅海域や生態系のみに着目した予測に留まっている。そこで本研究では、浅海域生態系の全球分布データや気候モデルデータを用いて、気候変動に伴う全球浅海生態系の面積変化を予測した。

その結果、最も温暖化が進行するシナリオにおいて、サンゴ礁は水温上昇によってその大半が消失する可能性が示されたが、その他の生態系は場所によっては拡張し、全球的には現況とほぼ変わらないか現況よりも拡張する可能性も示された。浅海域生態系は、これまで考えられてきたよりも海面上昇などの変化に適応し、気候変動の緩和・適応により効果的である可能性が示唆された。

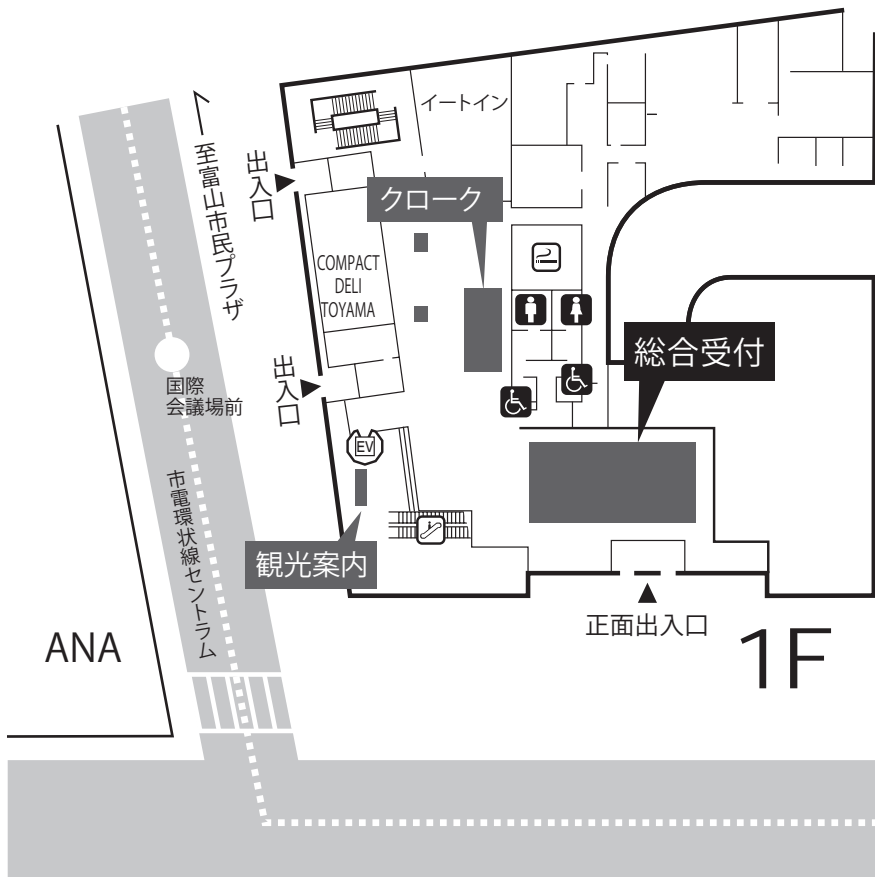
# 会場配置図



3F



2F



1F